

児童デイ便り



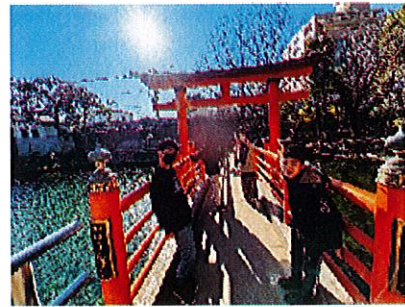
新年あけましておめでとうございます。

令和6年の年明けで、能登半島地震や航空機の事故など心を痛めるニュースが飛び込んできました。一日も早く平穏な日常が戻ることを心からお祈り申し上げます。

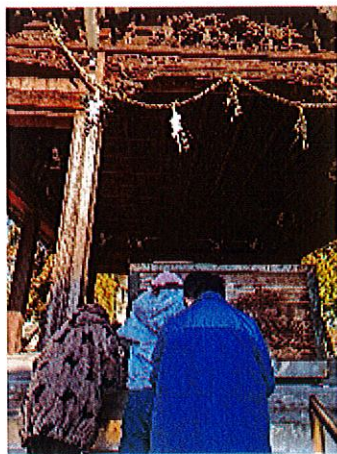
今年は辰年ということで、放課後等デイサービスレフト・ライトは大きく飛躍を遂げる年にしたいと思っています。

その一つは、相談事業所の立ち上げで、そして重心型デイサービスの立ち上げが計画されています。それらの事業についてのスタッフの意気込みは強く、地域の子供たちやご家族の為に役立てる事業になっていくことを約束したいと考えています。「まごころ」が創立31年という新しいスタートにふさわしい事業展開になるように、力を結集させていきたいと思っています。

(五藤 信子)



代表者が今年のおみくじの運勢を引きました。結果「中吉」でした！



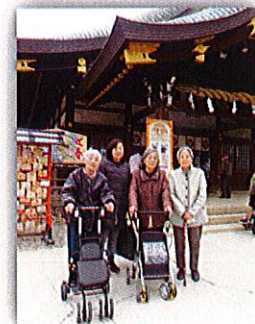
デイサービス通信

平成8年にミニデイサービスから始まったデイサービスまごころは、平成24年に介護保険通所介護、平成30年には共生型通所介護として、障害福祉の方もご利用いただけるデイサービスを開所しておりましたが、この度、経営上の都合により、令和6年1月末で廃止することになりました。ご利用者様、ご支援下さった関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。(代表 武保直美)

『デイサービスまごころ』らしく🍀

「あと一ヶ月もないんだね…寂しいなあ」「こんなふう公園まで散歩できて、ひなたぼっこできたのが良かったんだよ」「あれ食べたいと言ったらお〜いしく作ってもらえて、〇〇さんのご飯が食べられなくなるのが寂しいわ」「いつもの知った顔でおしゃべりするのが、楽しかった！」デイの終わりの時を目前に、利用者さんからたくさんのありがたい言葉をいただきました。同時に、スタッフひとりひとりその言葉に同じ思いであり、利用者さんとともにみんなで、毎日を楽しんで作り上げていたのだな〜と改めて、感じています。

新年は手作りのしめ縄を飾り、真清田神社に初詣に行ったり、書き初めをしたり、まごころおみくじをしたりといつも通りの年明けを迎えました。最後まで、まごころデイらしく 穏やかに、明るく過ごしていきたいと思えます。(大野)



ケアマネジャーの目

いまの日本社会は、外部サービスの利用は肯定する一方で、「介護は家族で行うべきで、それこそが親孝行」という意識も強いことが浮き彫りになっています。

自分の手に負えなくなったら外部の支援を受けるけれど、それまでは自分で親の面倒を見たいという話をよく耳にします。でも一番やっかいなのは、子どもが自分で親の介護を始めると、親は子どもに依存するようになって、外部の支援を受けたがらなくなってしまうことです。他人に面倒を見てもらうよりそのほうが楽だからです。

最初のうちはそれでも何とか対応できます。でも、要介護の度合いが上がって、だんだん介護の作業量が増えてくると対応できなくなる。そこに至って初めて、もう無理だと白旗をあげ、ヘルパーさんや、デイサービス、外部の支援を頼もうとするわけですが、その頃には親はすっかり子どもに依存しきっていますから、「これまで通り、お前にこの家で面倒を見て欲しい」と強く望むわけです。

それで子どもが無理して親の介護を続けた結果、心身に不調を来したり、金銭面でしんどくなったりして、それを親にぶつけるようになってくるのです。

まさに親孝行の罠…。

だから親の介護は最初から外部の支援を仰ぐことをお勧めします。私たちのような介護職でも自分の親の介護は難しいですから、プロに頼んでいるのが現状で良かったと実感しています。どうぞご家族だけで頑張らず早めにご相談下さい。



〜耳より情報〜

在宅医療・介護連携市民講演会
落語で学ぼう！

いまからはじめる人生会議

令和6年2月10日(土)
午後2時~4時
尾張一宮駅前ビル(iビル)
7階シビックホール

行政書士で落語家(天神亭きよ美)の生島清身氏が落語を交えて笑って学べる終活関連の講演です。

お問合せ: 高年福祉課 0586-28-9151

〜知っておきたいヘルパーの知識〜

「目標を持って今年も頑張ろう」

1月7日、今年最初の定例会、勉強会を行いました。

勉強会のなかで、意見交換会を行い、会の運営についての意見や要望を伺いました。

その中で、「新しい事業展開が軌道にのれば良いと願っています」という要望がありました。

利用者さんにも、「今年の目標はなんですか?」とお聞きすると、「自分のことが、さっさとやれる様になりたい」と教えて下さいました。

目標を達成するには、必要なアイデアや方法を洗い出し「目標の明確化」と「目標達成までの過程を具体化」し、目標への理解を深めて明確にすることで、具体的なアクションにつながり、職場内で共通の目標がある場合、皆で頑張る事が出来ます。

利用者さんの目標を聞くことで、達成に向けて、ヘルパーと一緒に頑張りましょう。

今年もよろしくお願いたします。

